

か いぎしよ

12 Dec.
2024/No.763



トップの部屋

100年の伝統を守り 進化し続けるめっき技術の革新者

日東亜鉛株式会社 代表取締役社長 本野 晃司 氏

令和7年会員賀詞交歓会ご案内

令和7年1月7日(火) 詳細・申込は本誌7ページ



■ 音楽情報 MUZA パイプオルガン クリスマス・コンサート2024 12月21日(土)

■ シネマ情報 「はたらく細胞」12月13日(金) 公開



KAWASAKI

★印があるページは読むことができます。
それ以外のページは本誌でお楽しみ
ください。

event

30p
音楽情報

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL
ミュージアム川崎シンフォニーホール

MUZAバイオリン
クリスマス・コンサート2024
12月21日(土)

31p
シネマ情報
CINEMAS



©清水茜 / 講談社
©原田重光 / 初嘉屋一生 /
清水茜 / 講談社
©2024映画「はたらく細胞」
製作委員会

はたらく細胞

12月13日(金)公開

★ 2 トップの部屋 100年の伝統を守り 進化し続けるめっき技術の革新者

日東亜鉛株式会社 代表取締役社長 本野 晃司 氏

- 6 生命共済制度をご活用ください
- 7 令和7年会員賀詞交換会ご案内

★ 8 会員ひろば 人形工房はやしや[川崎区] 黒猫豆花[高津区] 行政書士SAI法務事務所[多摩区]

- 12 巡回生活習慣病検診のご案内
- 22 古賀彰孝の税務Q & A
年末調整における定額減税の処理(年調減税)
税理士 古賀 彰孝

★ 24 儲かる! 商売に役立つ ワンポイント 顧客離れは怖いですが、値上げ(価格交渉)を検討しませんか? 中小企業診断士・当所専門相談員 仲田 俊一

- 26 はじめよう! カーボンニュートラル
第8回 脱炭素化への挑戦 日崎工業株式会社の取り組み(後編)
中小企業診断士 渡邊 一弘

- 14 中小企業・小規模事業者向け支援施策のご案内
- 38 小規模事業者経営改善資金制度

- 11 ビジネス手帳プレゼント
- 16 CCIレポート
- 19 新入会員のご紹介
- 20 「年末調整事務」無料相談のご案内
- 27 オンライン経営相談
- 28 WEBセミナー・研修講座
- 30 イベント
漢字詰めクロスワード / 12月・令和7年1月の川崎大師
- ★ 32 情報NOW
中小企業のためのDX事例 / トレンド通信
- 34 ガンバレ! フロンターレ!
- 35 GO! GO! 川崎ブレイブサンダース
- 36 川研通信
- 40 「川崎CNブランド2024」の認定製品・サービスが決定しました!

年末年始の業務について

年末: 12月27日(木)午後から休業
年始: 令和7年1月7日(火)から
通常業務



- 21 新会員をご紹介ください
- 25 専門相談制度をご活用ください
- 29 女性会 入会のご案内
- 37 ビジネス総合保険制度
- 42 小規模企業共済
- 44 大人のそろばん教室 参加者募集中!
- 45 パソコン教室 受講生募集!
- 48 会議所行事等予定表・編集後記

- 会員優待サービス券
- 審美巡礼(解説 佐藤寛介 /
東京国立博物館 学芸企画部 特別展室長)
- ★ ■ かわさき発 ぶらり旅



100年の伝統を守り 進化し続けるめっき技術の革新者

本野 晃司 氏

(MOTONO Koji)

日東亜鉛株式会社 代表取締役社長

本野社長は、創業から100年続く溶融亜鉛めっき専門メーカーの6代目。創業者である祖父は、関東大震災の翌年に東京で起業。鉄をさびや腐食から防ぐめっきを施されたインフラ設備は、震災復興に当たって数多く使用された。本野社長は、持続可能な社会の実現を目指し、環境にやさしい新技術の開発に取り組むとともに、次世代のためにめっき業界の働き方改革のリーダーとして挑戦を続ける。



東大震災からの 復興を夢見て起業した祖父

—これまでの歩みを教えてください。

本野 1924年7月、私の祖父である本野吉彦が、東京・月島で小幡亜鉛鍍金(めっき)工場を創業しました。前年に発生した関東大震災で、街ががれきの山と化した光景を目の当たりにし「インフラを支え、復興に貢献したい」という強い思いから、溶融亜鉛めっき(以下、亜鉛めっき)事業を始めたと聞いています。亜鉛めっきは鉄を空気や水から守り、さびや腐食を防ぐ技術であり、送電用鉄塔や水道管、ガス管など、多くのインフラ設備の復旧や敷設に役立てられました。

1959年10月、富士製鐵(株)<現・日本製鉄(株)>からの要請を受け、川崎区大師河原に日東亜鉛鍍金(株)を設立しました。その後、名古屋や栃木にも工場を増設し、日本工業規格(JIS)の表示認定を取得するなど、技術の向上に努めてきました。

1996年4月には本社を現在の川崎区水江町に移転し、鋼管ならびに一般構造物の亜鉛めっき加工業務も開始。社名も日東亜鉛(株)に変更しました。おかげさまで、今年で創業100周年を迎えました。

—社長は何代目ですか。

本野 社長としては6代目、祖父直系としては3代目です。祖父にはじまり、その弟、親戚の小幡、新日鉄出身者、父の直彦(現・代表取締役会長)、そして私と受け継いで参りました。



インフラの安全性と耐久性を 支える「縁の下の力持ち」

—亜鉛めっきについて、詳しく教えてください。

本野 亜鉛めっきには、「保護皮膜作用」と「犠牲防食作用」という2つの効果があります。保護皮膜作用とは、鋼材の表面に亜鉛成分が酸化皮膜を形成し、空気や水を通

しにくくする効果です。犠牲防食作用は、亜鉛めっきに傷が付き素地の鉄が露出しても、亜鉛が溶け出して鉄を守り、腐食を防ぐ効果です。亜鉛めっきは、長期間にわたって防さび効果が持続するので、メンテナンスの手間がほとんどかかりません。そのため、他の表面処理法と比較しても、コスト面で非常に経済的です。

—御社がこれまで手掛けられた仕事について教えてください。

本野 古くは、昭和天皇が乗られた御料車「日産プリンスロイヤル」のシャーシの亜鉛めっきを手掛けました。最近では、東京スカイツリーの展望台、新国立競技場の屋根やスタンド、テーマパークのアトラクション、原子力発電所にも当社の技術が使われています。

私たちの仕事は、インフラの安全性と耐久性を支える「縁の下の力持ち」です。高速道路の標識柱やガードレール、アウトレットの大型駐車場、街中に建つ通信鉄塔や太陽光発電の架台、電柱など、当社の技術は多くの場所で役立っています。

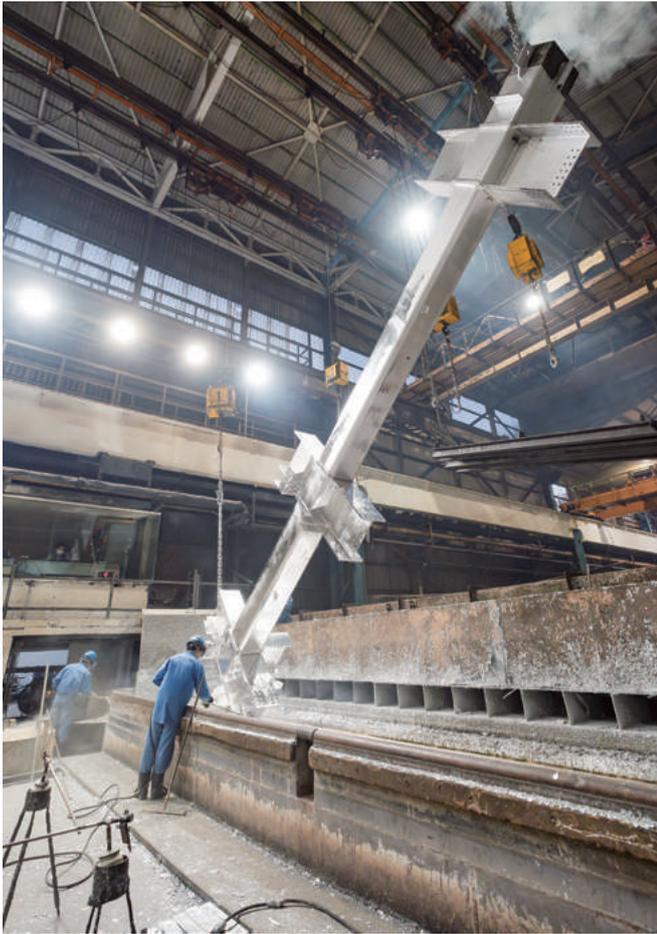


日本でトップクラスの生産量を誇る リーディングメーカー

—御社の強みはなんですか。

本野 当社の強みは、パイプと構造物の両方に対し、量的にめっき加工ができる点です。川崎工場には、大きさの異なる釜を備えた3つの生産ラインが設置されており、名古屋工場と栃木工場にもそれぞれ1つつラインが整備されています。合計5つのラインにより、他社では対応が難しい、多様なニーズにお応えすることが可能です。2020年には鉄筋めっき加工の自動化システムを導入し、生産の安定性を高めるとともに、短納期対応の体制も強化しました。

当社は亜鉛めっき製品の生産量において東日本でトップクラスの実績を誇り、その品質と供給能力には自信があります。



450℃で溶かした亜鉛に製品を浸す

「リーディングメーカーとしてどんな役割を担っていきたいですか。」

本野 世界に向けて、日本の高い技術を発信する役割があると思います。当社はその一歩として、2015年に「ピュアZ」という環境負荷物質を抑えた環境に優しい亜鉛めっきを開発しました。この技術は、優れた防さび性能を維持しつつ、RoHS指令（電気・電子機器における特定有害物質の使用制限）を完全にクリアした、鉛レス・カドミウムレスの高純度溶融亜鉛めっきです（JIS H 8641に準拠）。地元産業を代表する技術の1つとして認められ、本年、川崎ものづくりブランド*に認定されました。

「きれい・格好よく・稼げる」 新3K職場へ

「どのような職場にしたいと考えていますか。」

本野 安全で快適な職場を提供するのはもちろん「きれい（清潔）」な工場で、「格好よく」働き、しっかり「稼げる」。そんな新しい「3K」の職場づくりを目指しています。

また、当社の取り組みをInstagramなどのSNSを駆使し広報した結果、営業職と製造現場で初めて女性を採用することができました。

外国人社員については、ベトナムなどからの技術研修生が中心です。日本語能力試験の合格者には、合格シールをヘルメットに貼って表彰するなど、モチベーションを高める工夫をしています。

さらに、健康経営を積極的に取り組む企業を評価する「健康経営優良法人2024」や、「家族に入社を勧めたい・次世代に残していきたい企業」を認定する「ホワイト企業認定」のプラチナ評価も得ています。またSDGsへの取り組みが川崎市に認められ、「かわさきSDGsゴールドパートナー」の認証を取得しました。

「社員教育はどのように行っていますか。」

本野 当社では、独自の社内教育やOJTを通じて、未経験者でも活躍できる職場づくりに取り組んでいます。また、めっき技能士資格、クレーン免許、フォークリフト免許などの資格取得に必要な受験料は全額会社が負担し、社員のスキルアップをサポートしています。これにより、社員一人ひとりが自信を持って業務に取り組める環境を整えています。

また、IT化に積極的に取り組み、作業の進捗状況を「見える化」することで、ベテランの技術が若手にしっかりと引き継がれる仕組みを構築しています。その結果、川崎工場と名古屋工場では、この10年ほどで平均年齢が38歳までに若返り、活力のある職場環境が生まれています。

日々、社員一人ひとりが仕事に対し真剣に取り組んでくれる姿を見ると感謝しかありません。



クレーンを操縦する社員

「あ ありがとう」と言ってもらえる会社であるために

— 将来への展望をお聞かせください。

本野 亜鉛めっき事業を100年続けてきた実績に誇りを持ち、理念を守り続け、今後も変化を恐れず成長を続けていきたいと思っています。現在の売上げは関連会社を含めて50億円前後ですが、将来的に100億円が目標です。そのためには働く人の幸せを第一に考えることが重要です。やりがいを持って働ける環境を整え、人の力を最大限に活用できる会社にする、それが私の使命だと思います。

縁の下の力持ちとして、お客さまはもちろん、地域の方々や取引先、協力会社の皆さまから「ありがとう」と言ってもらえるよう、日々努力を惜しまずに挑戦を続けてまいります。

— 趣味について教えてください

本野 趣味はマラソンです。東京マラソンにたまたま当選したことがきっかけです。スポーツが得意な妻と一緒に出場しました。それからは、旅行の際にも必ずランニングシューズを持参し、走ることを楽しんでます。フルマラソンは2人で20回以上走りました。タイムは3時間40分くら

いですね。今後の目標は、まだ出場したことのない横浜マラソンに挑戦することです。



夫婦で参加した京都マラソン

*川崎ものづくりブランド認定事業は、市内中小製造業が生み出した優れた製品・技術を広く国内外にアピールし、販路拡大を支援することを目的として2004年度より実施。

日東亜鉛株式会社
川崎区水江町4-3
電話 044-266-7881

■ profile

本野 晃司 氏 (もとの こうじ)

- 1969年 東京都大田区 生まれ
- 1992年 立教大学経済学部 卒業
- 1993年 英国ウェールズ大学大学院経営学課程 卒業
専門商社 入社
- 1997年 日東亜鉛(株) 入社
- 2003年 同社取締役川崎工場長代理 製造部長 就任
- 2005年 同社常務取締役 営業本部長 就任
- 2007年 同社代表取締役社長 就任



店主・人形師
小林 誠



大正 12 年創業
人形工房 はやしや

夏季限定
純氷ふわふわかき氷

イベントやワークショップを随時開催!



総手描彩色
ふるさと雛

地元の風景や
草花を描きます



式正冠
史実に基づき
結びひものない冠



江戸おさな大将



人形工房はやしや [小売業分科会]

店主が“かわさきマイスター” めんどくさいほど親身な人形屋さん

川崎区

当店は創業101年の人形店です。三代目店主は“かわさきマイスター”として人形作りをしています。

お客様には、量産品ではなく日本の職人が手掛ける本物の趣をお伝えしながら、お一人お一人の好みやご予算に合ったお品物をお勧めしております。

また、お求めいただいたひな人形や五月人形を親子で楽しんでいただけるように、飾りつけに伺ってお話しさせていただくなど、「モノ」だけでなく「コト」も一緒に販売しており、私どもの人形がご家族に笑顔を運んでくれますことを願っております。

店内では、夏季限定で店主が手作りしたシロップを使用した“純氷ふわふわかき氷”を食べられるコーナーや琵琶の弾き語りなど年間通して様々なイベントを開催しております。インスタにて随時情報発信しております。

皆様のご来店、お待ちしております。

*人形のメンテナンスも承ります。お気軽にご相談ください。



照会先

人形工房はやしや
店主・人形師 小林 誠
〒210-0013 川崎区新川通3-10
TEL 044-222-4835
E-mail info@ningyo-hayashiya.com
営業時間 10:00~18:00
定休日 水曜日
*石川潤平工房・霧楽人形工房・カ石甲人 指定特約店



LINE 公式アカウント



Instagram

このコーナーは会員の皆様にご利用いただくページです。



トゥファ
黒猫豆花 [食品部会]

台湾で修業した伝統の味をご賞味ください

高津区

田園都市線・二子新地駅から徒歩5分の「黒猫豆花」へようこそ。

当店は、現地台湾で修業した伝統製法にこだわり、豆乳から手作りの本場の豆花を提供しています。会社員時代に仕事で訪れた台湾で、豆花の優しい味に心から癒され、その感動を皆さまにも伝えたいという思いから、このお店を始めました。

ぜひ一度、足をお運びください。

毎年6月、地元二子新地で「黒猫台湾まつり」を開催しています。地元の方や近隣のお店と協力し、台湾の文化を発信しています。今年は、2日間で約2,000人が来場、メディアにも取り上げられました。



照会先

黒猫豆花
代表 見吉 勇治
〒213-0002
高津区二子2-7-40 フォーレスト多摩川102
TEL 044-455-4026
営業時間 10:00~21:00(L.O.:20:00)
定休日 水曜日



Instagram

掲載ご希望の方は企画広報部 TEL 044-211-4112 まで、ご連絡ください。



行政書士・申請取次行政書士・
(文化庁提出) 著作権相談員

上松 功二郎

(神奈川県行政書士会所属 第19090567号)

取扱業務

国際法務

- ◎Visa取得
- ◎在留資格の変更・更新
- ◎永住許可申請
- ◎帰化申請

企業法務

- ◎会社設立
- ◎建設業許可申請
- ◎契約書作成
- ◎補助金申請
- ◎各種許認可申請

民事法務

- ◎遺言・相続手続き
- ◎贈与契約
- ◎成年後見

※上記以外のご相談・ご依頼も承ります。

行政書士SAI法務事務所 [サービス業部会]

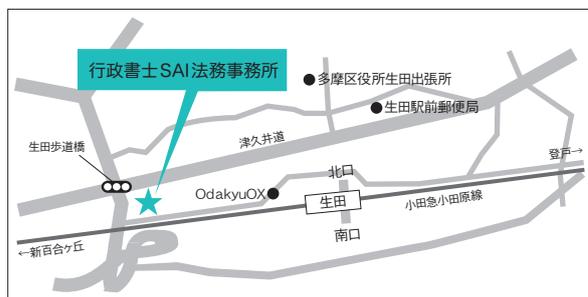
困った時はとりあえず「一社に一台上松」

多摩区

行政書士は、土業の中でも非常に広い分野を網羅する法務の専門家です。範囲が広い行政書士業務において、分野ごとに専門家を探す負担を軽減できるよう「一社に一台上松」を目指し、オールラウンドに対応しております。

弊所では、
《企業法務》 契約書の作成・リーガルチェック、
 会社(法人)設立、外国人雇用、補助金
《民事法務》 遺言、相続手続、後見人、内容証明郵便作成
《国際法務》 各種Visa申請
 などのご相談を中心に対応しております。
 また、各種許認可(建設業許可申請・産廃収集運搬許可申請
 etc.)など、様々な手続きを高水準で対応可能です。

複数ご相談事がある場合や、どの専門家に相談したら良いかわからないという場合は、是非窓口としてご利用下さい。もしお客様が必要とする分野が他土業の業務であれば、その専門家をご紹介しますいただきます。
 初回相談無料ですので、まずはお気軽にご連絡ください。



照会先

行政書士SAI法務事務所
 行政書士 上松 功二郎
 〒214-0038
 多摩区生田7-9-3 タスコハウス507
 TEL 044-299-7450
 携帯 090-9548-4629
 E-mail mail@sai-houmu.com
 URL https://sai-houmu.com/



ホームページ



事務所LINE

このコーナーは会員の皆様にご利用いただくページです。



[BtoB編] 顧客離れは怖いですが、 値上げ(価格交渉)を検討しませんか?

中小企業診断士・当所専門相談員 仲田 俊一

私のところに来られる相談者様からも、値上げについての相談が非常に増えています。人件費や原材料費の高騰のため、多くの業種で値上げの必要性が高まっています。

今回は特にBtoB(法人向け)の取引をされている中小企業や個人事業の方向けに、値上げ対策(価格交渉)について書かせていただきます。

●「値上げは悪い」という思い込みを捨てましょう!

失われた30年という言葉が表す通り、日本では30年間もデフレが続いていました。逆に言うと、それ以前はインフレが普通であったため、値上げの交渉を行うことはとても一般的だったそうです。ただ、30年も値上げをしない状況が続いてしまうと、「値上げの方法がわからない!」「値上げをすることが悪いことなのでは?」と思ってしまうのは仕方ないと思います。

●値上げは自分の為ではなく、社員やその家族のため。

値上げがしづらい状況は十分に理解できますが、これだけの人件費の高騰と原材料費の高騰が続くと、自社の努力だけで乗り越えるには限界があります。値上げをしないと、御社の社員やその家族にまで影響してしまうのです。

●値上げまでのステップ

①まずは現状分析(商品別の原価計算)

交渉の前に、自社の商品別の原価計算を行ってください。「人件費と原材料費の高騰でどのぐらい利益率が減っているか?」「どのぐらいの利益率を確保する必要があるか?」交渉の前にこの2点の確認をしてください。

②交渉のためのデータ収集

取引先が大きくなるほど、担当者は上司に許可を取る必要が出てきます。そのため、感情だけで訴えて目の前の担当者には響いたとしても、結果が出づらいので、地域の最低労働賃金や業界の原材料費のデータなど、値上げをするための理由を収集してください。

③一度で決めようとせず根気強く交渉を

交渉というと、とても上手な人を思い浮かべますが、上手である必要はありません。こちらの事情と世の中の状況を踏まえて、先方に伝えてください。交渉が一回でまとまる確率はかなり低いので、一度で諦めずに、担当者とは何度もコミュニケーションを重ねていくことが重要です。

原価計算やデータ収集のやり方がわからないという方も多いと思います。中小企業庁が「中小企業・小規模事業者の価格交渉ハンドブック」というものをWeb上で公開しています。そちらで具体的なツールの紹介もしていますので、参考にしてください。

とはいえ、初めてのことでどのように進めて良いか悩む方も多いと思います。そんな時は、商工会議所に相談してください。経営指導員や、私を含めた専門相談員と一緒に考えますので、怖いとは思いますが価格交渉を是非検討してください。

あなたの企業をサポートします!

経営相談のご案内 [経営相談のご案内]

当所経営指導員や専門相談員(弁護士・税理士・中小企業診断士他)が、経営に関する悩み・ご相談にお応えします。お近くの本部・支所までお気軽にご相談ください!

このコーナーは、「儲かる! 商売に役立つ ワンポイント」と題し、商売に役立つヒント、便利な情報・制度などをご紹介します。日々のご商売に、ぜひお役立てください。

地域と共に歩む芝園開発：デジタルが変える放置自転車対策

芝園開発株式会社は、駐輪場や駐車場の管理業務を中心に、都市の放置自転車対策など、さまざまなサービスを提供している企業です。1998年には、日本初の無人機械式個別管理時間貸し駐輪場システムを導入し、業界に大きな影響を与えました。しかし、2006年に主力の駐車場事業がガソリン価格の高騰や過当競争などにより厳しくなり、その状況を打開するため、新たな価値創造やビジネスモデル構築を目的に、デジタル技術を活用した事業転換を積極的に推進しました。

その取り組みの一つが、15年に開発された放置自転車対策システム「Capture」です。自治体が管理する放置自転車の発見から返還・処分までのプロセスを一元管理するこのシステムは、現場スタッフがタブレットやスマートフォンを使って操作しやすいように設計されています。特に、現場スタッフの多くが高齢者であることから、操作の簡便化を重視し、音声入力やカメラガイド機能を搭載しています。これにより、IT機器に不慣れなスタッフでもスムーズに利用できるようになりました。さらに、放置自転車の位置情報や作業の進捗（しんちよく）状況をリアルタイムで共有することで作業効率が飛躍的に向上し、大きな成果を上げています。例えば、東京都港区ではこのシステムの導入により放置自転車の台数

が51.4%減少しました。さらに、システムのリリース後も、現場からのフィードバックを基に改良が続けられており、重たいタブレットからスマートフォンに切り替えるなど、より使いやすいシステムへと進化しています。

また、「LIXTA」というブランドを通じて、より広範な社会課題を解決する取り組みを行っています。駐輪場や駐車場の管理システムだけでなく、広範な施設管理業務をサポートするデジタルソリューションを提供してきました。データに基づいた運用を実現し、施設の利用状況をリアルタイムで把握することで、効率的かつ効果的な管理が可能となり、管理コストの削減とサービスの質の向上に貢献しています。また、施設の特性に応じたカスタマイズが可能であり、柔軟な対応力がLIXTAの大きな特徴です。

同社は、デジタル技術を活用して業務運営の効率化とサービス品質の向上を同時に実現していますが、その取り組みにとどまらず、地域社会や自治体との連携を強化し、新たな価値を創造しています。これらの取り組みにより、社会課題の解決に貢献し、さらに成長を続けることが期待されています。（この事例は筆者取材時のものであり、現在では異なる場合があります）

新たな目的地と居場所をつかったFビレッジ

いまや北海道の新名所となっている北海道ボールパークFビレッジを訪ねてきました。プロ野球の北海道日本ハムファイターズが本拠地とする野球場エスコンフィールドを核に、さまざまな商業施設や宿泊施設、居住施設などが複合しています。2023年3月に開業し、今年の6月には来場者が500万人を超えました。新たな観光名所であり、地元民が休日を過ごす居場所であり、そこに住むこともできます。また、さまざまな企業がこの開発プロジェクトに関与することで、ビジネスや出会いを生み出す場所としても期待されています。

訪ねた日は、オリックス・バファローズとのデーゲームが開催されていました。球場に足を運んでいた人たちは年齢も性別も服装も多種多様で、例えば広島のマツダスタジアムの観客のように、みんなが応援するチームのユニホームを着ているといったことはなく、試合観戦、あるいは応援がメインというより、普通に休日を楽しみに来たその一部として野球観戦という人もたくさんいるように感じました。

Fビレッジの開発を手掛けたキーパーソン、北海道日本ハムファイターズの前沢賢さんは、「訪れるお客さんは、運営側が想像もしないような楽しみ方をこの場所で見つけている」と話していました。例えば、試合前にグラウンド整備のために芝に水をまくシーンをずっと眺めている人がいて、理由を尋ねると「非日常空間で緑と水が描く光景に癒やされるから」だそうです。平日の昼間、試合がない日でも球場に入れるよう一部を開放しているのもユニークです。アクティブなシニア層を意識して、

プロ野球では異例の平日の昼間に試合を開催したこともあります。バックスクリーンにはビール会社とコラボしたレストランがあり、そこで醸造したビールを野球観戦しながら楽しめます。

球場以外でもFビレッジでは、さまざまなお客さんに向けた楽しみ方が提案されています。ファミリー向けに子どもが遊ぶスペースはもちろん、犬の散歩がてら来られるようにドッグランのコースもあります。球場にも、ペットとともに観戦できるスペースが設けられています。

とにかく、これまで野球チームや野球観戦にあまり興味がなく、接点を持たなかった人にも足を運んでもらうアイデアや工夫が随所に散りばめられています。一つひとつの仕掛けを見ていると、年齢やライフスタイルの違いでいくつもターゲットを設定し、それぞれに対して魅力的な企画やサービスを提供しているように見えます。顧客を広げるために、なんとなくぼんやりと広いターゲットを設定するのではなく、絞った満足度の高いものを個々のターゲットに合わせていくつも用意するというイメージです。

ターゲットが違っていても共通しているのは、単にある目的だけのために来てそれが済めば帰るのではなく、ほかの施設やサービスを体験してできるだけ長い時間Fビレッジに滞在してもらおうという考え方です。顧客を広げるために、たくさんのフックを用意してそれをいくつも体験できる場所をつかったことが、成功の秘訣(ひけつ)の一つだと思います。

初日の出は南国へ 花まつりの下田市

白浜神社、爪木崎水仙まつり、海グルメ、温泉 他
静岡県
下田市



冬なお温暖な、下田の白浜の海ですが、流石に夜は底冷えします。ホットコーヒー片手に、待つことしばし。やがて東の水平線が白み始めました。新年を待つ人々の期待が高まります。赤く染まった水平線から、徐々に顔を出す初日の出。聖地・大明神岩に立つ鳥居としめ縄が、神秘的な雰囲気添えています。冷えた頬に、昇る太陽が放つ熱を確かに感じました。

今回のぶらり旅は、静岡県下田市へ。白浜神社の初日の出、水仙とアロエの冬の花祭り等を巡りました。

南北に800m、極上の白砂が自慢の白浜海水浴場は、伊豆を代表するビーチです。環境省の「日本の水浴場88選」、そして「日本の快水浴場百選」にも選出されています。

その白浜を守る白浜神社(伊古奈比咩命いこのひめのみこと)神社は、2400年の歴史を誇る、伊豆最古の古社です。広い境内には、国の天然記念物のアオギリやビャクシン等、樹齢2000年以上の巨木が並びます。

白浜海岸に立つ赤い鳥居も、白浜神社の

御祭神の一柱、三島大明神に由来したものです。巨大な大明神岩と赤い鳥居越しに、太平洋と伊豆諸島を見渡す、素晴らしい景色を楽しむことができます。

温暖で穏やかな気候の下田市では、爪木崎の水仙まつり(12~2月)、白浜のアロエの花まつり(11~1月)等、冬でも花祭りが開催されます。ぽかぽか小春日和の海辺で、美しい花と青い海を眺めることができます。爪木崎は、静岡を代表する星空観察スポット。特に冬季には天の川が低い位置を流れるため、灯台とのコラボが楽しめます。

爪木崎の郷土料理と言えば、「いけんだ煮味噌」。水仙群生地「池の段」の地名が訛り、こう呼ばれます。元々は、その日に捕れた磯の幸を、まとめて味噌汁にする漁師料理でした。一時廃れてしまいましたが、近年、下田市の名物として復活。現在では、イセエビやキンメダイ等、伊豆の海の幸を楽しめる、豪快かつ豪華絢爛な鍋料理となっています。



- アクセス
 - 【電 車】 JR川崎駅→東海道線熱海駅→伊豆急行線下田駅→東海バス・タクシー
 - 【自動車】 東名高速道路→伊豆縦貫道→下田
- キャプション
 - ①: 白浜神社、大明神岩の海浜鳥居と初日の出
 - ②: 爪木崎灯台と天の川 ③: スイセンとアロエの群生(爪木崎水仙まつり) ④: 下田名物、イセエビとショウジンガニ、キンメダイ他の豪華な「いけんだ煮味噌」 ⑤: 新下田名物、黒船ソフト(下田市観光協会: ☎0558-22-1531)